英語科学習指導案

日時 平成25年5月24日(金) 2校時
学年 1年5組(男子20名 女子20名 計40名)
指導者 池本源二郎

1 単元名 NEW HORIZON English Course 1 Unit 3 はじめまして、ブラウン先生

2 単元について

(1) 教材観

本単元は、ALTのブラウン先生がさくらや一郎、ベッキーの学級の英語の授業に初めて参加するという内容で、ブラウン先生の自己紹介、生徒からブラウン先生への質問という内容によって構成されている。言語材料としては、一般動詞を用いた〔主語＋動詞〕に目的語が加わった文構造の肯定文や、疑問文とその応答、否定文、呼びかけの表現などが扱われている。このような言語材料を基に、自分のことを紹介したり、話し相手に質問したりすることが可能である。よって、本単元は、ALTや身近な外国人に自分のことを英語で紹介したり、英語で質問したりしたいという意欲をかき立てる題材であると考えられる。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、授業に積極的に参加し、言語活動にもペアで協力したり、教師に質問したりしながら意欲的に取り組んでいる。また、生徒は小学校において年間35時間の外国語活動を経験しており、英語でのコミュニケーションに対する積極的な態度が十分に養われている。特に、音声面を中心とした授業の導入や展開に慣れ親しんできていると考えられる。アンケートの結果を分析すると、英語でのコミュニケーションに対し積極的であり、ゲームやスキット活動が好き、また、得意であると答えている生徒が多い。しかし、英語を使って他者とコミュニケーションを図ることを楽しんでいる一方で、英語でのコミュニケーションをあまり好きではないと答えている生徒も少なくないことが分かった。それは、自分の伝えようとしている内容がうまく伝わっているのか確認できずに不安な気持ちを抱えているからだということが予想される。そこで、本単元においては、小学校外国語活動で培った積極的な態度を維持させながら、注意深く英語を聞いて相手の思いを理解しようとしたり、自分の思いを積極的にかつ適切に相手に伝えようとしたりする態度を育めるような授業を展開していきたい。また、学習した内容を終末段階で整理しまとめを行うことで、十分に音声に慣れ親しませた後、抵抗感なく学習した知識や技術の確実な定着を図りたい。

次に、生徒の多くは「書くこと」「読むこと」の文字を用いた言語活動に興味が高いことが分かる。一方、これまであまり英語を書くという経験をしてきていないため「書くこと」については不安を感じている生徒も多い。そこで、生徒の負担を考慮しながら、英語を書くためのルール等を段階的・計画的に指導することで、生徒が抱く不安を解消していきたい。

以上のことから、本単元では、生徒の興味・関心を高める導入を工夫し、音声面を中心とした授業展開に重点を置く。また、言語活動においては、相手の言った内容を正確に理解して適切に応じ

る力を身に付けさせたい。そして、授業の終末段階においては、基本文等をノートに正確に書かせる活動も計画的に位置づけていく必要がある。

(3) 指導観

本単元の題材の特性を生かし、ALTとの出会いをきっかけに、自分のことをALTに伝えたい、ALTのことについて知りたいという意欲をもたせ、互いに紹介や質問をし合えるような授業を展開したい。そのために、まず、教科書の内容を中心に、small tasksを通して特技や趣味、通学方法などを伝えたり、質問したりするための言語材料を理解させる。その後、友人同士で自己紹介したり、質問し合ったりする活動を通して、既習事項を用いて自己紹介をする経験を積ませる。また、言語活動においては、相手の言った内容を正確に理解し、適切に応じることができるようにならせたい。さらに、各時において、英文を書く際の基本的なルール等を段階的に指導しながら、「書くこと」への導入をスムーズに行えるようにしたい。最後に、「ニック先生のことをもっと知ろう」というlarge taskに取り組ませ、small tasksの経験を生かし、自分のことについて英語で紹介したり、互いのことについて質問し合ったりできるようにさせたい。

このことにより、小学校における外国語活動で培った積極的な態度を維持させ、また、相手が話す内容を正確に理解して、それに適切に応じる力を高め、円滑にコミュニケーションを図ろうとする生徒を育成したい。

【アンケート結果】 (アンケート対象者：1年5組 男子20名 女子20名 計40名)

1	小学校での英語の活動で楽しかった活動を教えてください。	
ア	ゲーム	70.0%
イ	先生との英語でのおしゃべり	12.5%
ウ	スキット発表	10.5%
エ	Hi, friends! を使った活動	10.0%
2	小学校での英語の活動で得意に感じていたことを教えてください。	
ア	先生との英語でのおしゃべり	42.0%
イ	スキット発表	28.0%
ウ	その他(一人で発表をすること、暗唱、自己紹介 など)	22.0%
エ	Hi, friends! を使った活動(英語を聞く活動、文字を扱う活動 など)	8.0%
3	英語の授業の中でコミュニケーションを図ることは好きですか。その理由も教えてください。	
ア	好き(理由:言いたいことがうまく伝わると楽しい、友だちが増える、習ったことが使える など)	43.0%
イ	どちらかというところ好き(理由:伝わりやすい、英語の歌が分かる、ジェスチャーでも通じる など)	29.0%
ウ	どちらかというところ嫌い(理由:自分の話していることが正しいのか分からない、どう言えば良いか分からない など)	23.0%
エ	嫌い(理由:上手に言えない、覚えられない など)	5.0%
4	中学校の英語の授業でできるようになりたいことを教えてください。(複数回答)	
ア	書くこと	60.0%
イ	読むこと	50.0%
ウ	話すこと	35.0%
エ	聞くこと	22.0%
5	中学校の英語の授業で不安に感じていることを教えてください。	
ア	書くこと	61.5%
イ	話すこと	13.5%
ウ	聞くこと	9.0%
エ	読むこと	9.0%
オ	その他(不安は特にない)	7.0%
6	初めて来られるALTの先生にどんなことを質問したいですか。	
	・なぜ日本に来たのか ・好きな色 ・鹿児島島の好きな場所 ・出身地 ・趣味 ・日本の印象 など	

3 単元の計画

(1) タスク「ニック先生のことをもっと知ろう」

(2) large task で活用させたい主な言語材料

言語の働き	学年・単元	教科書での表現 ※太字は小学校で慣れ親しんでおり、本時と関連のある言語材料
自己紹介する	1年 U3-① 1年 U3-① 1年 U3-② 1年 U3-② 1年 U1-① H・F1 L1 H・F2 L3 H・F2 L8	I like soccer. I play soccer every Sunday. I come to school on Tuesday and Friday. I walk. I'm Becky. My name is Suzuki Sakura. I can swim very well. I want to be a singer.
質問する	1年 U3-② 1年 U3-② 1年 U3-② 1年 U3-③ 1年 U3-③ 1年 U3-③ 1年 U1-③ H・F2 L3	Do you play the piano? Do you come to school every day? Do you come by bike? Do you drive? Do you want a car? Do you speak Japanese? Are you from Canada? Can you play soccer?
質問に答える	1年 U3-② 1年 U3-② 1年 U3-③	Yes, I do. No, I don't. Yes, but I don't have a car now.
呼びかける	1年 U2-②	Excuse me.
あいさつをする	1年 U1-① 1年 U1-①	Hi. Nice to meet you.
相づちをうつ	1年 U1-②	Me, too.

(3) large task における活用例（自己紹介とALTへの質問）

S: Hi. I'm Takeshi. I'm from Fuzoku elementary school. Nice to meet you.
ALT: I'm Nick. Nice to meet you, Takeshi.
S: I like baseball. Do you like sports?
ALT: Yes, I do. I like baseball, too. I play it every day. Do you play baseball, too?
S: Yes, but I don't play baseball every day. I play it on Saturday and Sunday. Do you come to school by bike?
ALT: No, I don't. I come to school by bus.
S: Me, too.

(4) 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
① 相づちをうつなどして相手の話に関心をもって聞いている。 ② butなどの接続詞を使ったり、noで答えた時に、一言加えたりすることで、話を続けようとしている。	① 正しい姿勢、イントネーション、区切りなどを用いて話すことができる。 ② ALTに自己紹介や質問をしたり、ALTからの質問に答えたりすることができる。	① 語句や表現、文法事項などの知識を活用して自己紹介の内容を正しく聞き取ることができる。 ② 話されている内容から話し手の意向を理解することができる。	① 一般動詞を用いた〔主語＋動詞〕に目的語が加わった文構造を理解している。

(5) 指導と評価の計画

時間	○タスク・学習活動	単元の評価規準	評価方法 (総括的評価)
1	○ [small task] 単元のあらましを理解しよう ・ Unit 3のスキーマ形成 ・ large taskの設定 ・ 自己紹介スピーチをするために必要な情報の収集		
2	○ [small task] 好きなことや部活動について紹介し合おう ・ Part 1の内容理解と音読練習、一般動詞を用いた〔主語＋動詞〕に目的語が加わった文構造の形、意味、用法の理解と表現練習、英文の書き方の指導 ・ 自分の好きなことや部活動についての紹介	アー① エー①	後日ペーパーテスト
▶ 3	○ [small task] ALTの先生に質問しよう ・ Part 2の内容理解と音読練習、一般動詞を用いた〔主語＋動詞〕に目的語が加わった文構造の疑問文の形、意味、用法の理解と表現練習、英文の書き方の指導 ・ ALTへの質問	ウー② エー①	後日ペーパーテスト
4	○ [small task] 友達と自己紹介をし合おう ・ Part 3の内容理解と音読練習、一般動詞を用いた〔主語＋動詞〕に目的語が加わった文構造の否定文の形、意味、用法の理解と表現練習、英文の書き方の指導 ・ 友達に対する自己紹介と質問、友達からの質問への応答	イー① ウー① エー①	後日ペーパーテスト
5	○ [large task] ニック先生と自己紹介をし合おう ・ ALTに対する自己紹介と質問、ALTからの質問への応答	アー② イー② ウー①	活動の観察 ALTによる評価 用紙

4 本時の計画

(1) 本時のタスク

「友達や先生に質問しよう」

(2) 指導の重点

「聞くこと」「話すこと」

(3) 本時の目標行動

導入時において、英語を用いたゲームを行う。その後、さまざまな人物の自己紹介についてのピクチャー・スライドを視聴する。その際、教師とのインタラクションを通して、体験的に本時において使用する言語材料を理解する。また、教科書本文の聞き取りや音読練習を通して、英語の音声の特徴を捉える。さらに、友人や教師へ質問する活動を通して、基本的な表現への理解を深める。その後、英文を書く際のルールを確認し、授業の終末時に、本時で学習した言語材料の知識や技能をノートに整理し、まとめを行う。

(4) 本時の指導目標

- ア 間違いを恐れずに積極的に友人や教師に質問したり、一文付け加えるなどして会話を続けようとしたりする態度をはぐくむ。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- イ 聞き手を意識して、英語の音声の特徴に気を付けながら、適切に友人や教師に質問や応答ができるようにさせる。 【外国語表現の能力】
- ウ 友人や教師の自己紹介を聞いて適切に応じることができるようにさせる。 【外国語理解の能力】
- エ 友人や教師に質問したり、友人からの質問に答えたりする上で、必要な表現や文構造について理解させる。 【言語や文化についての知識・理解】

(5) 授業設計上の工夫

ア 小学校外国語活動との接続を意識した授業設計の工夫（教科論6-(1)-ア参照）

本時では、導入段階で、キーワードゲームを行う。小学校で慣れ親しんだゲームを行うことで小学校での外国語活動ではぐくまれてきた失敗を恐れず積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を中学校でも持続させたい。

イ ICT活用の工夫（教科論6-(1)-イ参照）

本時においては、導入段階でプレゼンテーションソフトを用いてさまざまな人物の自己紹介をスクリーンに流し、それらの人物について生徒とインタラクションを図りながら質問を作る活動を行う。このことにより、主体的なタスク設定につなげ、授業や実際のコミュニケーションに好奇心をもちながら、積極的に活動を行うことができるようにさせたい。

ウ 文と文のつながりを意識し表現・理解させる工夫（教科論6-(2)-イ参照）

本時では、相手を意識させながら、話す言語活動を行う。具体的には、グループでのカードを

用いたゲームにおいて、一般動詞の疑問文を作る際に、友人の話す内容につながるのがある疑問文を作ることを意識させたい。そうすることで、生徒は、文と文とのつながりを意識しながら、相手によりよく伝わるように工夫するようになり、円滑にコミュニケーションを図るために必要な表現力を身に付けられると考えた。

(6) 本時の実際 (3/5)

区分	教授=学習過程	時間	生徒の活動	指導上の留意点 ◆ 評価 □ 補説 (研究との関連)	
導入	Start Greetings 1 Warm-up 2	10'	1 英語であいさつをする。 2 英語を用いたゲームを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 英語学習の雰囲気を作るために、大きな声で元気にあいさつを行わせる。 小学校で慣れ親しんだゲームや教科書で取り上げてきた語彙や表現を用いて学習への意欲を高める。(教科論6-(1)-ア) 	
	Grasping Task 3		3 本時のタスクを把握する。		<ul style="list-style-type: none"> スライド等を見せながら、インタラク션을図り、活動の意欲をもたせただで、タスクを提示する。(教科論6-(1)-イ)
展開	New Expressions 4 Oral Interaction 5 Listening 6 Check of Understanding 7 Reading Aloud 8 Activity 9 Presentation 10	30'	4 本時で身に付けるべき言語材料をインタラクションやパターン・プラクティスを通して、理解する。 5 教科書の本文の概要を把握する。 6 教科書のCDを聞く。 7 教科書の内容に関する教師の質問に答える。 8 教科書を音読する。 9 友人とカードを用いたゲームを行う。 10 教師の自己紹介に英語で質問する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">友達や先生に質問しよう</div> <ul style="list-style-type: none"> ビデオの内容を想起させながら、言語材料を理解させる。 新出単語については語と語のつながりを意識させながら導入する。 ピクチャー・チャートを用いて、スキーマを活性化させた上で、概要を理解させる。 生徒の理解の状況を把握し、段階的に新出語句を与えながらCDを聞かせる。 ◆ 教師の質問に、適切に答えることができたか。 □ 教科書の文を見ながら、再度聞き取りを行わせ、その後、質問に答えさせる。 英語の音声の特徴を捉えさせた上で、繰り返し、練習させる。 自己紹介の内容に合う適切な質問を作らせる。(教科論6-(2)-イ) ◆ 自己紹介の内容に合った適切な質問ができたか。 □ 再度、ペアで教師の自己紹介の内容を確認させ、質問を考えさせる。 	
	Copying 11 Assignment 12 End		, 10	11 本時で学習した表現を振り返りながらまとめを行う。 12 今後の活動の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> インタラクションを図りながら、理解した言語材料を整理させる。 英文を書く基本的なルールを確認しながら、基本文を書かせる。 次時への見通しをもたせる。